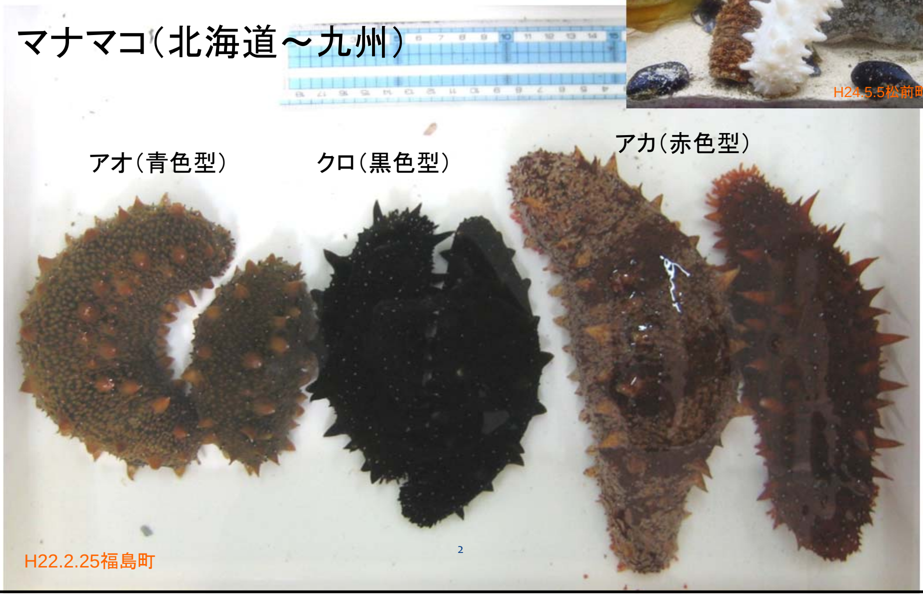
奥尻地区でのナマコ放流試験の経過について

7年間（平成19年～25年）の結果概要

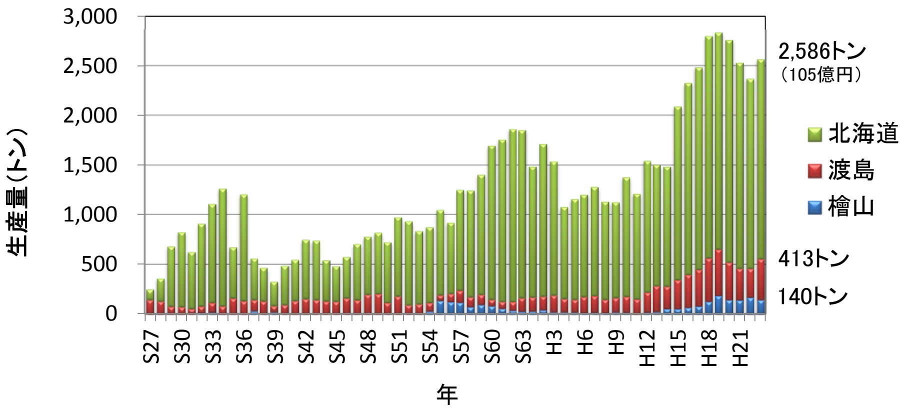
函館水産試験場　調査研究部
赤池章一・奥村裕弥

共同実施機関:ひやま漁業協同組合，同奥尻支所，同潜水部会，奥尻町，檜山振興局，奥尻地区水産技術普及指導所，北海道水産林務部水産振興課

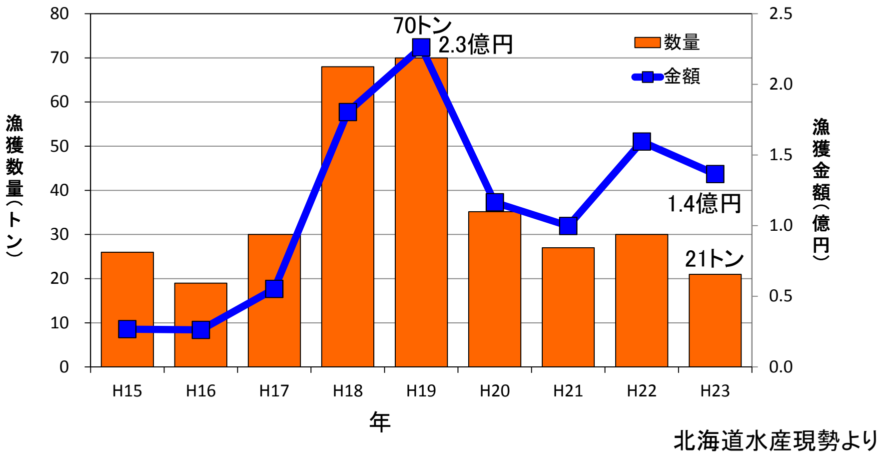
マナマコの3型



全道ナマコ生産量の推移



奥尻町におけるナマコ漁獲量、金額の推移

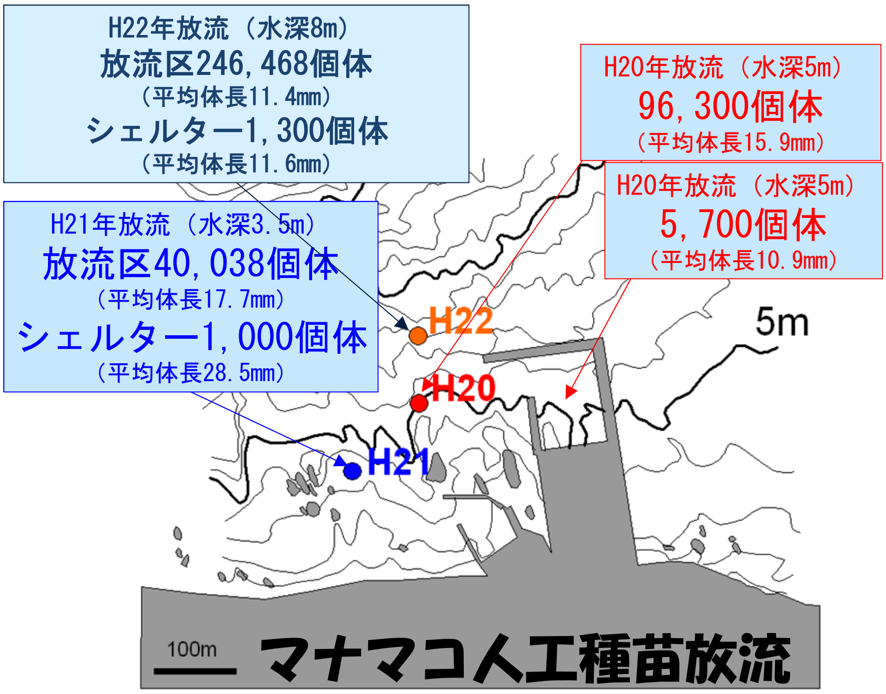


北海道水産現勢より

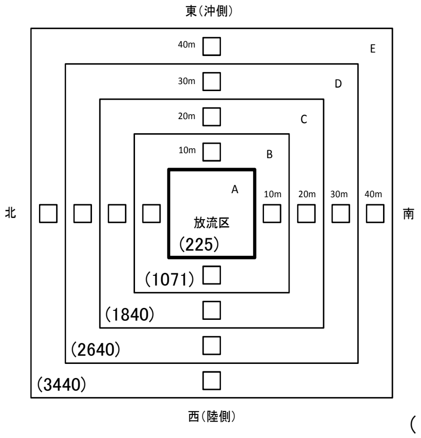
マナマコ資源増大推進事業全体計画

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
種苗生産	←12→	←12→	←12→				
中間育成	←→	6 ←→	6 ←→	6			
稚ナマコ（天然ナマコ）調査	5←→3	5←→3	5←→3				
放流追跡調査		6 ←→	←→	←→	←→ 3		
			6 ←→	←→	←→	←→ 3	
				6 ←→	←→	←→	←→ 3

数字は月を示す



放流追跡調査地点位置



（　）は調査エリアの面積（m²）

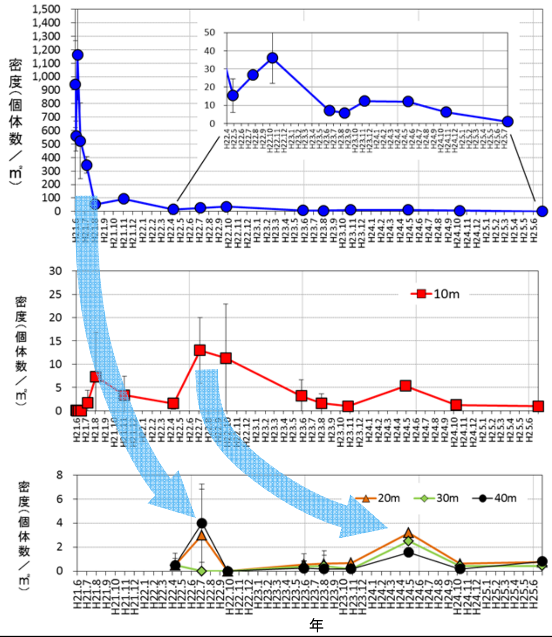
［調査方法］放流区内及び放流区から10mごとに4～16m²のナマコを採集し、密度（1m²当たりの個体数）を算出。密度を調査エリアの面積と乗じて調査区内の残留個体数を推定した。

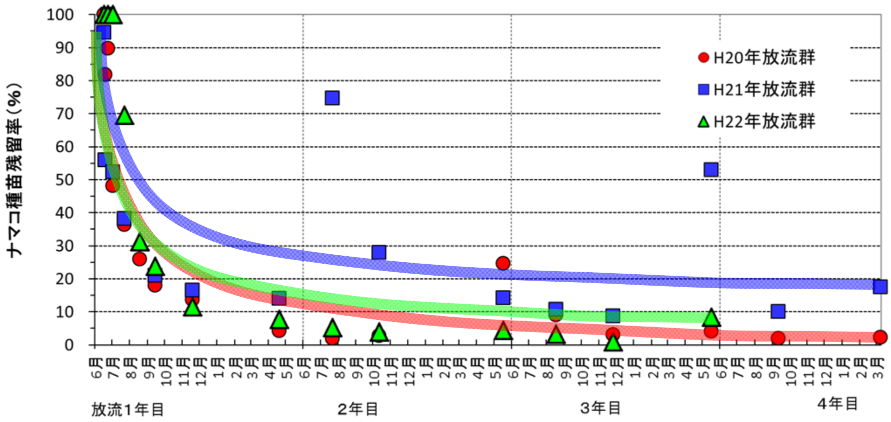
ナマコ種苗密度の推移（H21年放流群）（平均値±標準偏差）

放流区内

放流区中心から10m地点

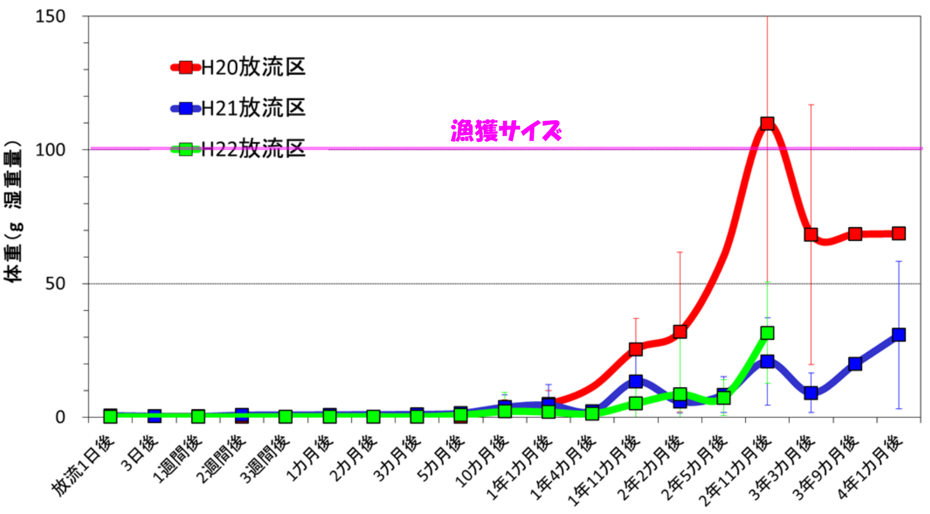
放流区中心から20m～40m地点



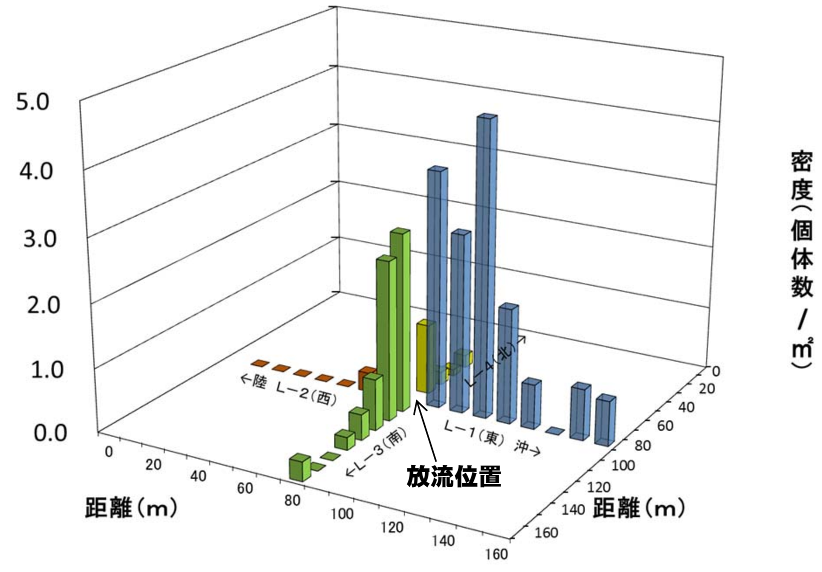


調査海域のナマコ種苗の残留率*の推移

*残留率＝Σ（ナマコ種苗密度×調査区面積）×100/放流種苗総数
残留率には、「死亡率」、「発見率」、「調査範囲からの移出」が含まれる。



ナマコ平均体重の推移

（平均値±標準偏差）

ナマコ分布量調査結果（H21年度放流群）
（水深3.5m、H25.3.5（放流3年9カ月後）調査）